**ＥＳＤＧｓ通信　第157号　「教え込みでない学びの姿をつくれ」　手島利夫**

いつもお世話になっております。

猛暑が列島を焼き尽くし、豪雨が各地を襲います。厳しい世界が様々な形で牙をむいてきまし

た。弱い地域や弱い人たちから倒されていく現実に心が震えます。

　昨日は群馬県総合教育センター主催のWeb講演会で８０分のお話させていただきました。ご

担当の方からは、できればもっと多くの先生方に聞いてもらいたかったとのお声をいただきま

した。私にとって、研鑽への励みになるお言葉でした。

また、来週には、宇都宮大学・群馬大学共同教育学部でのＥＳＤ教育法の集中講義「小学校に

おけるＥＳＤの授業づくりや教材づくり」で、午前中一杯、４５分×４時間の集中授業をさせて

いただくことになりました。両大学の３年生３６０名を相手に、

1. ＥＳＤやＳＤＧｓを基本理念として今回の学習指導要領が編成されていることや、その理念

を踏まえた教育課程編成、あるいは授業改善の要点と方策について具体的な講義をするとと

もに、

1. その要点を踏まえると、例えばＳＤＧｓ導入時には、どのように「こどもの学ぶ心に火をつ

ける」ことができるのか、個人で、あるいは協働的に指導案の構想を立てる作業をしたり、

1. 手島が考える児童・生徒向けの授業に参加し、「学ぶ心に火が灯る」体験をしてもらったり、
2. 自分たちが体験したこの授業は、どのような指導計画で構成されていたのか再現してみたり

解説を聞いたり、あるいは従来の「授業」との違いを振り返ったりしてもらおうかと、準備

を進めています。

午後には「中学校におけるＥＳＤの授業づくりや教材づくり」について、元伊豆市立天城中学

校長の大塚明先生がお話してくださるとのことです。大塚先生の具体的で分かりやすく、最高レ

ベルの教育実践に接することのできる学生さんたちは、本当に幸せだろうなと思います。

教育学部の３年生という重要な時期の学生さんたちの心に、大塚先生と力を合わせて厳しく

も温かな教育観のシャワーをたっぷりと浴びせたいと思っています。

さて、7月29日教育新聞の記事によると、中教審教育課程部会で、全国連合小学校長会、全

国連合中学校長会が学校長対象に行ったアンケートの結果が報告され、小学校長は「ＩＣＴの利

活用や情報教育を最も重視」し、中学校長は「主体的・対話的で深い学び」の指導法として「子

供同士の協働」を最も重視していることが報告されたそうです。

中学校では主体的・対話的で深い学びに向けた指導への関心が高まっているものの、小学校で

は、学びづくりの核心を離れ、ＩＣＴの利活用等に意識が向いてしまうことで、教育観の後退が

危惧されます。

前回のＥＳＤＧｓ通信156号「主体的、対話的で深い学びを創る」でお伝えした内容を新聞紙

面という限られたスペースに詰め込んで、全国の学校に向けてお届けさせていただきました。

　2022年8月1日付の教育新聞1面の「円卓」【教え込みでない学びの姿をつくれ】です。



　これからも皆様からのご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

　厳しい今年の夏ですが、お元気でお過ごしください。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**